

松下幸之助記念財団 研究助成
研究報告

【氏名】金 兌希

【所属】(助成決定時)慶應義塾大学大学院

【研究題目】

民主主義国における市民意識の比較研究—日米韓における政治的有効性感覚を中心に—

【研究の目的】

本研究の目的は、政治に対する懐疑心や疎外感が高まっている現代において、政治的有効性感覚を低下させる要因を明らかにし、それらの問題への解決策を提示することである。政治的有効性感覚は、民主主義の根源に関わる価値を表す指標として重要視されてきた。国際比較研究では、政治的有効性感覚に関するほぼ一般化されたモデルがいくつか提示されているが、一部の国では異なった結果が報告されている。特に日本は、政治的有効性感覚が低だけでなく、高い教育を得た階層ほど有効性感覚が低いという報告すらある。しかし、従来の研究では、なぜ日本がそのような特異な結果を見せているのかについては、明らかにされてこなかった。また、分析モデルや指標が異なっていたため、先行研究で報告されてきた国家間の違いが各国特有の文脈に起因するものなのか、それとも分析に使用してきたデータと指標の違いによるものなのか、判断することが困難であった。そこで本研究では、先行研究から有効性感覚の一般モデルを構築し、同じ質問項目を尋ねた世論調査データを用いて多国間比較を行い、有効性感覚を規定する要因を明らかにする。

【研究の内容・方法】

本研究では、以上の研究目的を達成するために、以下の研究計画・方法に従って分析を進めた。

比較分析を行う対象として、日本、韓国、そして米国を選択した。米国は民主主義体制の歴史が長いだけでなく、市民が高い政治的有効性感覚を保持しているため、民主主義のモデル国として捉えられてきた。一方、韓国は日本と同じアジア文化圏であるだけでなく、両国とも戦後に民主主義への体制転換を行った。また両国とも小選挙区比例代表制を採択しているなど、選挙制度の面でも多くの類似点が見られるため、これアジア文化や民主主義への体制転換などの要因を制御することが可能となる。

三カ国を比較するに当たっては、以下の三点に注目した。一つは、政治領域への参加径路がどのくらい開かれているのか、という点である。各国の市民は、自身の声を政治に反映させる径路がどの程度開かれているのかによって、政治的有効性感覚の程度が変わってくると考えることができる。二つ目は、政治的決定がどのように、誰によって下されるのか、という点である。例えば、市民が投票参加によって自身の意見を反映する議員を選択したとしても、政治的決定が議会ではない場所で行われているとしたら、市民の政治的有効性感覚は低くならざるを得ないであろう。三つ目は、政治参加への公平性が保たれているのか、という点である。政治参加は必ずしも平等に行われてはいないのが現状である。一人一票が与えられ、最も平等な参加形態として考えられる投票参加すらも選挙区割りによってその価値には不平等が生じる可能性がある。また国内の経済格差が政治的不平等に繋がるという研究報告もある。

本分析では、実証分析の方法として主に世論調査データを用いて計量分析を行った。分析には、慶應義塾大学グローバル COE が行った日米韓世論調査データと、各国独自で行われている世論調査データを使用した。分析方法としては、順序ロジスティック回帰分析と、構造方程式モデルを用いた。研究で得られた成果については、学会発表などで口頭発表を行っただけでなく、学術雑誌にも投稿を行った。

【結論・考察】

本研究では、次のことが明らかになった。一般的に、教育水準が上がると有効性感覚が高まる。また、政治的に信頼する、または政権を支持するほど有効性感覚が高まる。そして、団体に加入し、討論に参加した経験があるほど、有効性感覚が高まることがわかった。各国特有の結果としては、米国では社会経済的地位が、日本では選挙制度が、そして韓国は社会的腐敗が顕著な要因として現れた。先行研究の間で一般モデルとして考えられてきた「社会階層が高くなるほど有効性感覚は高くなる」というモデルは、米国のように社会経済的格差が大きく、さらにその格差が政治的不平等に転化される程度が大きい社会においてより顕著であることがわかった。また、韓国のように政治システムが腐敗などで機能不全に陥っている場合、教育水準が高いにもかかわらず、有効性感覚が低くなることが示された。そして日本のように政党への支持が多党化しているにもかかわらず小選挙区制を取り入れている場合、市民の意見は国政に上手く反映されず、有効性感覚が低くなることがわかった。本研究は、以上のように、政治的有効性感覚を醸成する共通要因、そして各国特有の要因を明らかにした。本研究の知見に基づいた政策を行うことで、民主主義を支えるために必要な政治的有効性感覚を有する「善き市民」を育成することが可能となるのではないだろうか。